

第55回横浜市都市美対策審議会景観審査部会会議録	
議 題	審議事項 議事1 「まちを楽しむ多彩な交通」における景観形成について（審議・報告） 議事2 広告付案内サイン・公衆無線LAN整備事業における景観形成について（報告） 議事3 その他
日 時	令和元年11月26日（火）午前9時52分から午前11時45分まで
開催場所	横浜市開港記念会館2階6号室
出席委員	国吉直行、小林 徹、福岡孝則、矢澤夏子、山家京子
欠席委員	加茂紀和子、野原 卓
出席した書記	堀田和宏（都市整備局企画部長） 嶋田 稔（都市整備局地域まちづくり部長） 梶山祐実（都市整備局企画部都市デザイン室長） 鴫田 傑（都市整備局地域まちづくり部景観調整課長）
関係者	<b>【議事1】</b> 関係局：松井恵太（都市整備局企画部企画課長） 原田博志（都市整備局企画部企画課担当係長） 事業者：泉陽興業株式会社 <b>【議事2】</b> 関係局：光田麻乃（都市整備局企画部企画課担当課長） 松中 渉（都市整備局企画部企画課担当係長） 事業者：エムシードゥコー株式会社
開催形態	公開（傍聴者：7名）
決定事項	<b>【議事1】</b> 支柱、屋外広告物については、場所性、わかりやすさ、周辺環境を尊重しながら、引き続き検討を行うこと。また、夜間景観については、本日出た意見をふまえ、具体的な内容について検討し、改めて付議すること。 <b>【議事2】</b> 都市景観アドバイザーの助言による広告付案内サイン設置位置の検討結果について報告を行った。本事業については引き続き景観審査部会に意見を聴取しながら進めること。
議 事	議事1 「まちを楽しむ多彩な交通」における景観形成について（審議・報告）  資料を用いて、事務局、関係局及び事業者から説明を行った。  （国吉部会長） それでは、YOKOHAMA AIR CABINについてご説明がありましたが、審議に入らせていただきます。これまで、AIR CABINにつきましては長らく検討してまいりましたが、検討としては最終の段階かと思っております。委員の方々には前回までの検討に加わっていなかった方もいらっしゃると思いますので、多少その辺でお話ししたいこともあるかと思っております。今回の報告事項には、最終的な駅舎の細かい色彩、あるいはキャビンの色彩など、いろいろな内容が入っていると思います。これにつきまして、各委員からご意見いただければと思います。福岡委員、どうぞ。 （福岡委員） この件に関しては本日初めて審議に参加させていただくのですが、私の専門の風景とか景観、もしくはランドスケープという立場で特に気になった点としましては、運河パーク側の駅舎の色の設定の経緯です。いろいろな経緯があって今、無彩色のグレーで統一ということになっているのですが、資料3の6ページを拝見していると、ワールドポーターズさんや汽車道の色味は割と明るめといいますか、暖色系かと思っております。私は色の専門家ではないのですが、これがワールドポーターズさんや周辺の景観に合わせるような設定でグレーになっているのか、それともワールドポーターズさんもこれから先、どれぐらいこのファサードで続くのか、もしかしたら改修があるかもしれないということを考えたときに、何にこの駅舎の色を合わせて調和としているのかというところがよく理解できなかったもので、もし補足で説明があればお願いしたいというところです。 （国吉部会長）

それでは、これについての議論の経緯を私から説明させていただきます。みなとみらい21新港地区につきましても、ガイドラインをもって、赤レンガ倉庫との調和というようなこと、ブラウン系をベースに進めてきております。今回、このAIR CABINにつきましても、ワールドポーターズの近くの駅舎をレンガ色系にするという案も含めて検討してまいりました。ただ、やはりこの交通施設がこれまでの新港地区の歴史と連続するようなものではないという位置づけを行い、色彩をそろえるよりも、近代的な新しいものとして対比的に見せるほうがよいという発想で、ここでの議論ではむしろモダンな素材、機械的な素材として色彩面でも見せるほうがいいのではないかという方向になった次第でございます。

(福岡委員)

わかりました。あともう一点なのですが、特にこの駅舎が建っている敷地についてです。桜木町の駅前に関しては動線として階段とエレベーターということで、例えば非常にたくさんの人たちがそこからあふれ出したときに、周りの広場のあり方みたいなものも問われるのではないかと。ただ、駅前として、桜木町はかなりフットプリントがタイトですので、滞留空間であるとか、動線のにじみ出しがあったときに、何か対応するような空間を用意するのは難しいと思うのです。一方で運河パーク側の駅舎から降りたところは、たしか港湾緑地だと思うのですが、これは民間事業者さんをお願いすることではないのかもしれませんが、この駅舎の周辺、特に建っている敷地に関して、これに合わせて広場の質を上げていくとか、この港湾緑地の周辺の質を高めていくみたいな議論があったのかなのか、またその辺の検討の経緯などあれば教えていただきたいと思います。

(国吉部会長)

事務局からどうぞ。

(企画課)

新港側の、本来の目的が港湾緑地である場所に、新たに駅舎を設置するということですので、ここは港湾管理者と、駅舎がある前提で、周辺は今後どういう設えがいいのかとか、あるいはオープンスペースとして使われる市民の方々にとってどういう憩いの場にするのがいいのかということは議論したいと思っています。旅客の流動という意味で言いますと、ワールドポーターズに上がっていくエスカレーターが横浜市の港湾施設になっているのですが、あそこに2階レベルで歩行者デッキを拡張するような計画を横浜市では持っております。ワールドポーターズのベランダというか、オープンスペースのようにになっている通路がありますが、いちいち1階まで降りていただくなくても、あちらから新港の更に奥のほうの、赤レンガ方面や、ハンマーヘッドのほうに行きやすくするような歩行者動線を計画しておりますので、これにより旅客の分散とか、そういう観点から円滑な移動ができるのではないかと考えております。

(福岡委員)

ありがとうございます。私が以前神戸市で審議会に関わったときに、神戸にも布引のロープウェイがございまして、ハープ園とセットで、出発点と終着点の周辺もかなり一生懸命整備しています。コンテキストは違うかと思うのですが、ただケーブルの駅を置いてケーブルをかけるということに加えて、それによってもたらされる価値を更に高めるということで、出発点と帰着点の、駅の周辺の整備ということも、本日の審議事項からは少し外れますけれども、将来的に横浜市としても、港湾緑地の質を高めるということも含めて、オープンスペース、周りがどうあるかということ、ただこれが置かれるだけではなくて、それによってさらに価値が高まるということも考えていかなければいけないのではないかと思います。ポイントとして、そこだけ申し上げたいと思いました。

(国吉部会長)

どうもありがとうございます。本日の提案の内容は、これまでの経緯からの変更点があって、一つはポールの土台です。ここに、船が下に入らないようなカバーをする必要があるということで、腰壁といいますか、水面に浮いていた感じだったところに壁がついてしまったということです。それで、そのデザインをどうするかということで提案があったということです。それから、広告物、夜間景観等についての検討がこれから始まるということで、その辺について出された提案についてご意見をお聞きしたいのです。

(山家委員)

私も今回からこの審議に加わらせていただきましたので、先ほど部会長がおっしゃったように、本日の審議事項としては変更点と屋外広告物、夜間景観についてということではあるのですが、やはりちょっと気になるところがあります。もともとまちを楽しむ多彩な交通であるとか、都心臨海部のロープウェイそのものについて、私はすごくいいと思っています。都市の臨海部を彩る交通としてのロ

ープウェイはすごくいいと思っているのですが、やはり正直この位置はなかなか厳しいと感じています。それは、ロープウェイのゴンドラ部分だけだと点と線でいくのですが、どうしても支柱が色彩だけではなかなかカバーし切れない存在感で、土木スケールになってくるのでなかなか厳しいかと思えます。北仲通北地区に関係する皆さんの理解を得ていただくというのも非常に重要だと思えますし、北仲通北地区の水際線のプロムナードについてはオープンなものですよね。そうすると、横浜市の景観のあり方として考えたときに、ここの支柱はちょっと厳しいというのが私の率直な感想です。

(国吉部会長)

ありがとうございます。山家委員からの指摘につきましては、北仲通北地区の開発をされている方々からもこれまで培ってきた景観に対してかなり影響があるということで、支柱の配置はできるだけ距離をとってほしい、本来だったら目の前を通ってほしくないということも含めてご意見があったわけです。これはこの審議会で議論するというよりも、この企画を進めている中で審議会にかける前に進んできたということがありまして、それについて、つくるのであればどういうことを最大限努力しなければだめかという議論をしてきた次第です。ただし、そこについては私が説明する立場でもございませんので、市のほうから説明があればいただければと思います。

(企画課)

計画論の一番ベーシックな部分だと思うのですが、ロープウェイのルートを考える際に、これは事業者さんに提案をしていただいたわけですが、まず「索道」という、鉄道事業法に基づく施設になるわけなのですが、桜木町駅との乗り替え利便性というのは、利用者の立場から考えると必要であろうと。そして、赤レンガ倉庫はもともと観光客も多いですし、あとは新港地区における新たな客船ターミナルですとか、もともとあの地区はアクセスしにくい場所で、汽車道で歩いていくということが中心になるわけで、そういう課題を持っていました。ですので、ルートの合理性という意味で言うと、やはり桜木町駅直近から新港ふ頭地区のほうに結んでいくということで、これまで、提案後も具体的にどういった場所がいいのか、駅の場所はどうかというのを検討してまいりました。ロープウェイにつきましては、途中で曲げることができれば柔軟性のあるルートがとれるわけなのですが、2点間を直線で結ぶという制約条件が技術的な問題としてあります。ですので、駅の位置をちょっとずつよりよい場所にしていくという、何とか針の穴に糸を通すような世界なのですが、そういうことをいろいろな角度で検討してきた結果、今回のようなルートになっているということです。その検討の視点では、もちろん北仲通北地区との距離感もありますし、あとは水域利用者の航行安全ということもあります。更に支柱の位置については、先ほど部会長からもありましたが、北仲通北地区からの通景空間を阻害しないような支柱の配置計画はどうしたらできるのか、水域利用者の航行安全も同時に満たすような場所はどこにあるのかといったことを、さまざま検討してきた結果であるということでございます。ですので、そのルートの中で最大限景観への影響が少なく、調和がとれる支柱計画ということで、この審議会においてよりスリムにしていく方向の調整をし、そういった経過で議論してまいりました。

(山家委員)

新港地区へのアクセスの問題は、やはり何かアクションを起こしたほうがいいと思うのですが、それがAIR CABINなのかというのは、本当かなというところは正直ありますし、技術的な問題もあろうと思いますが、それを何か通すありきのお話なので、やはり疑問が残ります。

(国吉部会長)

ありがとうございます。その点は、今後とも課題として残ると思いますが、本部会としましてはこの事業を進めていくということについて、審議の対象として出されたときから、山家委員のおっしゃるようなことも含めて各委員からも少し課題が大きいという意見があったと思います。その中で、事業をする側、フォローする市の担当も含めて、そういったことを最大限どういうふうに組み込んでできるか検討を進めてきた次第です。少し不満足な点はあるかと思いますが、その中で今できることを検討しているということでございます。申しわけないのですが、そういった状況です。

そういう中で、土台につきまして案が出ております。確かに厚みが出てきたものを軽減するために、これまで石積み風にしたほうがいいのか、いろいろな案があったのですが、それも先ほど申しましたように、あまり既存の歴史景観と同化しないほうがかえっていいだろうということで、割とシンプルな土台にした次第です。これについては、8ページで、本日の説明は最終の計画内容ということで、形状変更案-5はできないのですか。

(企画課)

形状変更案-5でございますが、設計地震動の変更によりやはりボリュームが大きくなってきてお

りまして、この形状にすることにより、特に地震動に対する影響が少し大きめに出てしまうということがあります。ボリュームをできれば軽減、低減したいということで、今回、形状変更案-5の左側が最終計画内容ということでご提案している次第でございます。

(国吉部会長)

形状変更案-5については、エッジの丸みをとっているというのと、エッジからそのまま立ち上がっているというのが2つあるのですが、左側の最終検討案は面取りをしていて、上のベースのところは少し引っ込んでいます。そこでボリュームを小さくしているということです。ただ、その左側の案の考えをとり、ボリュームを小さくしながらも、それぞれを丸くするというやり方もあるのではないかと思います。そういうことはできるのですか。

(泉陽興業株式会社)

この部分だけではなくて、耐震設計がレベル2になることによって、杭であるとか、基礎であるとか、全ての部分が大きくなってきました。それで、なるべく全体の重量を減らすために、それぞれを少しずつ少しずつ軽量化していています。その点もありまして、ここのRの部分についても少しでも軽量化させていただきたいというのが設計者の考えなのです。

(国吉部会長)

そうではなくて、ボリュームを同じ状態にしながらエッジは丸くする。上に乗っかっている部分を少し小さくするというので、同じようなことはできるのかどうかということを知っているのです。

(泉陽興業株式会社)

例えば今、面取りになっておりますが、その角になっている部分を少し丸くするというようなことでしょうか。

(国吉部会長)

そうです。上も下も丸くするという考え方というのは、重量の問題としては同じかと思うのですが、そういうことはできるのですか。

(泉陽興業株式会社)

大きなRではなく、小さなRということでしょうか。形状変更案-5ですと、大きくRをとっておりますが、例えば、Rがあつて直線があつてRがあるというような形でも大丈夫ということでしょうか。

(国吉部会長)

ですから、今、重量の問題をおっしゃったので、重量は同じコンクリート量にしながら、こういった形状をとるということもあり得るのではないかとということで、それはできないのですかということをお聞きしたのです。

(泉陽興業株式会社)

鉄筋の形状とかもありますので、そこはちょっと検討させていただきたいと思います。

(国吉部会長)

わかりました。5ができない理由としてそういうふうにおっしゃったものですから、当初から形状変更案-3、4とか、この辺で検討した経緯があるので、その辺を踏まえたことができるかどうかというのはちょっとご検討いただければと思います。

それから、屋外広告物、夜間景観につきましては、ご意見はいかがでしょうか。ここに書かれている文字の色彩などは最終版でございますか。

(泉陽興業株式会社)

はい。

(国吉部会長)

わかりました。無彩色系で全体を統一するということですね。もう一つ、説明の中で今後の夜間景観の検討があると思いますが、いずれにしても北仲通北地区の方々の環境への配慮ということがこの場合は非常に重要でございます。そこに対して、本日は具体的な案がないのですが、あまりキャビンそのものを強く照らすというのは、多分問題が出てくるのではないかと。支柱そのものも、高層部については高層部の居住環境とか、そういうものに対する影響があります。船等への安全性とか、そういうものを設けて、最低限の下部の演出等は必要かと思いますが、支柱部あるいはキャビンについては、広大な遊園地の中のものと同じように扱うのではなくて、やはり静かな環境の中でのやわらかな演出というのはどういうことがあるのかということをご検討いただければと思います。漏れ聞くところによると、石井幹子さんのところをお願いするという話も聞いたのですが、その辺はデザイナーの方にも意向を伝えてやっていたらと思います。

何かご意見はございますか。どうぞ。

(福岡委員)

3点あります。1つは支柱の色です。資料3の7ページでは、右端と左端が起点と終着点の支柱ということで、色味が変わっているということだと思います。真ん中の3つの支柱に関してはN-65から80という設定になっているのですが、私も公園の中の支柱とか高い支柱とかいろいろやってみて最近気がついてのことなのですけれども、今ここで示されているのはかなり微細なグラデーションになっていますので、N-80の上の部分でももう少し明るくしてグラデーションの幅を持たせたほうがすっきり見えるのではないかと思います。このパースや一連のレンダリングで見ている一つ一つの色が、どこまで正確にマンセル値と対応するように反映されているかどうか、そこは判断しかねるのですが、例えば9ページのレンダリングを拝見していますと、割と色が分割されているというか、この部分はN-70、ここは75というふうにして、ブロックみたいな形で塗られているのです。できるだけシームレスな色の塗り分けというか、なかなか難しいことだと思うのですが、色は見た目の光の反射の仕方であったり、通常暗めの色にしたほうが景観上はいいということになるのですけれども、その辺も含めて色の明るさをどこまで持っていくとか、グラデーションのつくり方というのはもう少し最終的な調整をする必要があるのかと思いました。

それから、サインについての質問です。資料4の2ページ目のB立面の中には、3ページ目に書いてあるC立面のようなケーブルカーのマークがついていないですけれども、B立面におり立ったときはケーブルカーの存在みたいなものを視認できるのでしょうか。もしくは、あらゆる角度から見たときに、ここはケーブルカーの駅なんだなということがわかるようなものということで、C立面にあるようなケーブルカーのアイコンみたいなものが必要なかどうかということは気になりました。そこを教えていただきたいということです。

3つ目は夜間景観の照明です。特に10ページ目のゴンドラの演出照明といったところが、例えば神戸ですと、夜、割と山の上を通りますので、ゴンドラ自体が少し発光して光るようなものにはなっているのですが、いろいろな経緯を考えると、夜ゴンドラが発光するのが望ましいのかどうかということもあります。その辺をどのような設定にしていくのかというのは本日の資料からは判断しかねるのですが、どのようなものを考えられているのかというお話をいただければと思います。

(国吉部会長)

今の点につきまして、事業者からお願いします。

(泉陽興業株式会社)

まず、サインですが、このゴンドラのロゴマークがほかのところにもあったほうがいいのではないかとということでしょうか。

(福岡委員)

はい。

(泉陽興業株式会社)

私どもとしましては、まず「YOKOHAMA AIR CABIN」という名前が桜木町の広場に面してあるということと、あと、奥には実際にゴンドラのキャビンが向こうに進んでいっているのが見えるので、これで理解はしていただけたらと考えております。右側に関しては階段がありますので、階段を示したいということでサインをつけまして、左側については何もない空間がありましたので、ここに対してロゴマークを入れたという経緯でございます。

あと夜間照明で、ゴンドラについてです。これも計画中でして具体的なことはまだお話できないのですが、今現在考えておりますのは、ゴンドラの中できらめき感というか、言い方は悪いですが、蛍の光のような感じのやわらかな照明がぼつんぼつんとつくようにできないかということで、計画中でございます。

(福岡委員)

照明に関しては、今資料にご提示がないので、あまり議論すべきではなかったのかもしれませんが、ちょっとお伺いしました。最初にお伺いした支柱のマンセル値に関して、横浜市でもいいのでお願いします。

(企画課)

こちらについては、徐々にグラデーションがあったほうがいいということですが、福岡委員がおっしゃっている意味というのは、シームレスというお話でしたので、もう少しきめ細かくグラデーションをとる趣旨ということではよろしいですか。

(福岡委員)

そうです。ブロックで、ここは濃いグレー、中間のグレー、薄いグレーみたいになると、あまり美しいものにはならないので、下からずっと立ち上がってずっと消えていくような色のつくり方ができると思っています。そこら辺は、多分もう少し細かいマンセル値のグラデーションの設定かと思っておりますので、少しご検討いただければと思います。

(泉陽興業株式会社)

前回の審議会でこの色というのが決まっていたので、実はもう塗装に入っております、どこまで対応できるかわからないのですが、検討したいと思います。

(国吉部会長)

ほかにご意見はございますでしょうか。どうぞ、小林委員。

(小林委員)

私もこの議論につきまして、今回が最初の参加になります。横浜の湾岸の地区は、今まで横軸の動線はしっかりあったのに、縦軸が全然ないという問題点があったと思います。そういう意味では、このロープウェイの計画は非常にいいと考えております。特に、ちょうど福岡委員も神戸の話をなさっておられますが、私も神戸の六甲アイランドを実際に事業した経験がございますけれども、ああいうモノレール形式の場合ですと、人はたくさん運べるかわりに景観的にはどどんと大きなものがこの運河に出てしまうということもあります。それからコスト面から考えると、地下というのも非常に難しい。そういう意味では、このロープウェイというのは適切な方向かと考えている次第です。また、配色であるとか広告物につきましても、北仲通北地区の方々への配慮がすくなくされているとも感じております。ただ、逆に一方、横浜のこの地区は来訪者がとても多いだろうと。横浜の住民ではない、海外の方や地方の方々も来られる中で、桜木町駅に降り立って、このロープウェイの駅舎がすぐわかるのだろうか。それは、ロゴマークの問題もありますし、配色も含めてそうなのですが、余りにも街並みに溶け込むとかそういったことを気になさり過ぎて、駅舎そのものが来訪者にすぐに見えるのか、視認できるのかということころをちょっと心配しております。だから、そこはロゴマークなのか、その部分の色なのか、もう少しわかりやすくしてあげるといっても必要かと思っている次第です。

(国吉部会長)

どうもありがとうございます。ご意見として伺っておきます。ただ、みなとみらい地区にはあかいくつ号とか、いろいろな交通手段がありますので、それぞれわかりやすくといって全部が異なった主張をすると、広場そのものが違和感を持ってきます。動く歩道そのものも交通機関ですし、そういったものがバランスよくあるということの中で、先ほど事業者の方から説明がありましたように、ロープウェイそのものが目の前で動いているのが見えますので、これはかなり視認性は高いのではないかと感じております。申し訳ないのですが、そうではないかと思えます。

それで、矢澤委員は長くつき合っていたのですが、全体としていかがですか。

(矢澤委員)

全くの素人なのですが、ふだんここによく遊びに行きますけれども、ここにこんなのがどんとできるんだと思うと、素人的にはやはり違和感がぬぐい切れず、そうは言っても必要性とかいろいろな要請もあるので、何とか帳尻を合わせて事業を進める方向で調整していくしかないのかという感じではあります。やはり異質は異質かなと、ずっとそんな気持ちはしつつ、そうは言ってもというような感じです。

演出照明というのはこれからの検討の課題かと思うのですが、ゴンドラ自体の演出照明で具体的にどういうことが問題になるのかというのは気になります。抽象的に書いてあるのですが、バスとかタクシーの交通の面とか、周辺の住宅とか、ビルの住人とか、何に於けるの弊害というか、そういうものを具体的にピックアップして、それに対して個別的にという形でない、今のところ市の考え方だとぼやっとした配慮という形なので、そこが今のところ気になるかなというところ。取りとめもなくすみません。

(国吉部会長)

具体的に出てきておりませんので、出てきてから議論してもいいかと思えます。でも、具体的に出てきてももう時間がないからという感じにならないように。装置としての楽しさも醸し出さなければいけませんし、しかしやはり環境への配慮というのは一番大きいと思えます。いろいろ問題提起を受けておりますから、そこへの配慮というのが一番大きいということも考慮しながら、ぜひ提案をいただきたいと思えます。

(福岡委員)

割とネガティブなというか、景観上問題があるとか、そういう話が多かったのですが、一方で都市型のケーブルというものは、日本でも今まで大分いろいろところで検討されてきたのですけれども、実現してこなかった経緯があります。ヨーロッパでは結構街の中にケーブルがありまして、これがあることでのよさとかおもしろさみたいなものも多々あるのではないかと、私個人としては思っています。今までにない体験を提供するというところで考えますと、例えば、駅からおり立ったときにどういうふうに見えるのかとか、逆にポジティブな面も多々あるのではないかと。こういう景色が見える、こういうよさとか楽しさがあるみたいなことも、一方でより広く周知していただいたほうがいいかと思っています。もちろん、そこに暮らしている方とか、いろいろな方たちの風景に対する懸念をきちんと調整していくことも必要だと思うのですが、一方で、この楽しさとかすばらしさみたいなものや、ここでしか見えない風景みたいなこともあると思いますので、今回は審議会の場ということですが、そういったことを伝えるような視点みたいなものも必要なのではないかと思います。もう一つ、違った視点になりますが、最後にコメントです。

(国吉部会長)

ありがとうございました。手短かにお願いしたいのですが、欠席委員からありましたら簡単に。

(鵜田書記)

欠席された野原委員からのご意見がありました。3点ございます。1点目、基礎部分について。変更に伴い、基礎部分のボリュームが大きな存在感を有しているため、形状のみならず、表面上の素材やデザイン上の工夫もあわせて、周辺の護岸や景観になじむよう工夫が必要だと思われる。2点目、北仲通北地区からみなとみらいを眺める視点では、みなとみらい中央地区において時間をかけて築き上げられたスカイラインや景観に対して阻害したり影響することがないように、配置、形状等を検討することが大切である。また、グラデーショナルのかけ方次第では存在感を強める可能性もあるので、留意が必要だと思われる。3点目、両側の駅舎について、以前からの指摘事項でもあるが、フライトタワーのデザインの工夫など、地方スキー場とは異なる、都心臨海部にふさわしいデザイン検討を引き続き行う必要があるように思われる。以上でございます。

(国吉部会長)

どうもありがとうございました。本日の議論の中でも、福岡委員からはグラデーショナルに対する意見とともに、もう少し積極的にアピールするような演出もあるのではないかとという意見もございました。野原委員からは逆に、その辺はこの場所性を考えて配慮しながらという、二面があるということが実情でございまして、非常に難しいことでございます。小林委員からのわかりやすさとかそういうものと、環境としてのバランスということと、両面があるということで、どちらも尊重しながらどういうことができるかということだと思います。そういうことも含めて、今後引き続き検討をいただければと思います。こういうことで、本日の審議のまとめとしますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

(国吉部会長)

では、これで本件につきましてはおさめたいと思います。どうもありがとうございました。

(鵜田書記)

ありがとうございました。本日いただいたご意見につきましては検討して、再度ご報告したいと思います。特に土台の大きさですとか、支柱のグラデーショナルについて、どの程度可能なのかについてまた報告していただきたいと思います。

また、基本的な照明については本日ご審議いただきましたが、演出照明の考え方についてはまたデザインが決まり次第ご審議いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。以上で議事1が終了となります。

## 議事2 広告付案内サイン・公衆無線LAN整備事業における景観形成について(報告)

資料を用いて、事務局、関係局から説明を行った。

(国吉部会長)

ありがとうございました。私が景観アドバイザーとして指名されまして、実際に市の関係課と事業者が現場で調整するところに立ち会って、それぞれのところで意見を述べると。事前に書類で、ここここは重要だということで選定して現場に行ったわけですが、まず原則として、できるだけ道路に

直角に、変な角度をできるだけ持たないということとか、重要なシンボリックな空間とか、そういうものの眺望などを妨げないように、そこにできるだけ突出しないようにすることなどをベースに現場で議論した次第です。ただ、一方で設置に関しては道路管理者との調整等もあって、こことこの間でないとだめだとか、地下にいろいろな埋設物があったりして難しいとか、そういった制約もあって、完璧にいかなかったところもあります。そういう中で、考え方としては私が述べましたようなところをベースに展開していったということです。ただ、それを画一的に全部やるのではなくて、赤レンガ倉庫の脇のように、すぐ近くに斜めに案内板があるところに直角にこだわって置くと、また変なV字型の空間ができてきたりするので、そこは同じように連続して見えるようにするとか、場所ごとの特殊性にも配慮しながら展開することも重要だということを、現場で確認しながら実施していただくということになった次第です。そういうことで、事務局からの説明のような重要な事例の展開を行った次第です。

なお、最後のページの照度の問題で、まぶし過ぎるというものにつきましては、事務局からありましたように背面の白っぽいスクリーンを少しグレーっぽいものに置きかえたわけです。この写真で見ると少しぼんやりしているのではないかと思えるかもしれませんが、実際はこれでもきちんと見えます。左側は非常にまぶしいのですが、これはまぶしさがなく非常に落ちついた感じで見えるので、視認性が落ちるということではないということをつけ加えておきます。

以上でございますが、こういうことをベースに、それぞれ一般的なところでもできるだけ道路景観とうまく調和するような工夫として、先ほどの方向で実施してくださいということをやりました。何か、この点につきましてご意見ございましたらいただきたいと思います。福岡委員。

(福岡委員)

本日ご提示いただいた資料は非常にわかりやすく、すっと頭に入ってきました。ありがとうございます。気になった点が2点あります。1つは、本日ご提示いただいた景観上重要な場所以外でも、今、部会長がおっしゃったようにいろいろな理由によって検討しなければいけないと。その検討を進めるのに、かなり即地的にいろいろな条件に合わせながら進めていく必要があると思うのですが、今後こういったサインの設置が、地域を拡大してほかの場所でも展開されるということを考えますと、これをどういう考え方で設置していくのか。例えば、今、部会長がおっしゃったように、道路に対しては直角であるとか、眺望に対してはどんな設定をしなければいけないみたいなものは、既にガイドラインみたいな形で明記されたものがあるのでしょうか。あまり縛り過ぎてはいけないですが、考え方としては整理されてきちんと伝えられていくことで、またそれがきちんと継続していくかと思いましたので、それが1点です。例えば、照度に関しても、どれぐらいの照度なのかという設定を数値で入れておくとか、そういうこともあるかと思いました。それがちょっと気になりました。

あとは、本日ご説明いただいた5カ所以外も同じような形で庁内では進められているのでしょうか。全部をいちいち確認することは難しいと思うのですが、その辺がどうなっているかということがもしわかれば教えてください。

(国吉部会長)

少し私からお答えしますと、先ほど申しましたとおり、まず最初に図面でどこにあるか、それぞれの場所の配置計画案は一応見ているわけです。その中でここが課題だということについては現場に行って確認したということで、本日お示ししたということでございます。私が指名されて景観アドバイザーとして現場に行ったわけですが、考え方としては先ほど申しましたような視点で進めてはどうかということで、調整したということで皆様にご報告しました。ただ、それを画一的にやるのではなくて、場所によっては周りとの関係でそれを崩すところがあってもいいという柔軟性も持ちながら、あるいは照度の問題も、みなとみらいなどと関内では周りの照度によってまた違ってきますので、その辺の配慮なども含めて、皆さんのご理解がそういう方向でいいということで賛意が得られれば、それを何か簡単に文書化して、庁内で議論してもらって、それを今後の一つのガイドラインにしていってもらいたいとは思っています。事務局から何かありますか。

(企画課)

こちらからは、ガイドライン上にどのように明記されているかというご質問もあったと思いますので、ご説明させていただきます。ガイドライン上では、案内サインに関しましては、交差点周辺において利便性に配慮した配置にしていきたいと思いますということで記載がございます。照度に関しましては特に記載はございませんが、周辺の明るさに合わせるような形でということで、これまでの審議会の中でも、既存のバス停の広告について、大体150から350ルクス程度ということで現場を確認しております。今回の案内サインに関しましても、それらに合わせた形で照度を保っていこうということで



す。地図に関しましては見やすさに配慮していこうということで、部会長からも確認いただいて進めているところでございます。以上でございます。

(国吉部会長)

ほかにご意見はございますでしょうか。欠席委員から何かございますか。

(鵜田書記)

野原委員から事前にご意見をいただいております。設置物の大きさについては、継続的に場所に合った大きさでの設置を引き続き検討いただきたい。横浜駅みなみ西口の新規設置を拝見すると、必ずしも規格は1つではないようにも見受けられ、大きさはサイン設置の統一感に必ずしも寄与していないとも考えられるというご意見でした。

(国吉部会長)

ありがとうございます。今後、街の中にたくさん出てまいります。幅員の広い道路ばかりではなく、狭い道路に出てきたときに同じようなもので置いていいのかどうかということもまた出てくるかと思えます。以前から検討をお願いしたいという話が出ておりましたので、引き続きコンパクト型みたいなものがあるかどうかとか、それを検討いただきたいと思えます。

今回は報告事項ですが、今後、この事業はどのように進めて、審議会とはどういう関係になるでしょうか。

(企画課)

この事業はラグビーワールドカップまでに段階的に整備してまいりました。今度はオリンピック・パラリンピックに向けて、まだまだみなとみらい21地区でも開発が進んでおりますので、そういった必要なところに、これまでご説明した基準で拡大してまいりたいと考えております。位置につきましては一つ一つ、これまでいただいたご意見を参考に設置していきたいと考えております。

(国吉部会長)

今後増えるものに関しても、やはり再度、景観アドバイザーとして確認させていただいて、重要なところの視点が落ちていないかどうかとか、その辺をぜひ見せていただいて、確認しながら進めたほうがいいのかと思えます。その辺はよろしくお願ひしたいと思えます。

(鵜田書記)

今、企画課から説明がありましたように今まではひとまずの設置でしたが、これから先、また設置を増やしていくことですので、適切に配置できるよう審議会のご意見をいただきたいと思っております。

(国吉部会長)

はい。ありがとうございました。

(梶山書記)

あと追加で、特例許可を行うにあたって、きちんと基準を定めたほうがいいのかというご意見もいただいております。そちらにつきましてはこちらの部会ではないのですが、政策検討部会の景観計画の変更等のほうでもあわせて検討させていただきたいと思っております。

(国吉部会長)

その件につきましては、政策検討部会での審議が終わりましたら、この部会でも結果報告をいただきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

これもちまして、本日の審議内容、報告内容についての議事は終わりたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

議事3 その他

なし

閉会

(鵜田書記)

本日の議事録については、横浜市都市美対策審議会運営要領に「審議会があらかじめ指名した者の確認を得ることとすることができる」とありますので、作成後部会長に確認を頂いたうえで、公開いたします。これもちまして、第55回都市美対策審議会景観審査部会を終了いたします。ありがとうございました。

資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第、参加者名簿、座席表、第54回議事録</li> <li>【議事1】</li> <li>・資料1：これまでの審議状況</li> <li>・資料2：前回の審議会を踏まえた事業者との調整事項</li> <li>・資料3：（仮称）横浜ロープウェイプロジェクト《YOKOHAMA AIR CABIN》～報告事項～</li> <li>・資料4：（仮称）横浜ロープウェイプロジェクト《YOKOHAMA AIR CABIN》 ～「屋外広告物」「夜間景観」について～</li> <li>・資料5：事業者提案に対する市の考え方</li> <li>【議事2】</li> <li>・資料1：広告付案内サイン・公衆無線LAN整備事業における整備位置について</li> </ul>
特記事項	<p>次回の部会は、12月27日（金）に開催予定。</p>